



市長からの手紙

72 屋台村

今年の1月初め、まち歩きが目的で出掛け、西武新宿線の花小金井で下車し、徒歩で江戸東京たても園から中央線東小金井駅に出て、中央線に乗り吉祥寺に行きました。吉祥寺では、井の頭公園から駅北口のアーケード街を歩き、駅地下の商店街で買い物をして帰宅するという行程でした。

吉祥寺を歩いてみようという気持ちになったのは、昨年12月下旬に放送された、あるテレビ番組で井の頭公園や吉祥寺駅周辺が取り上げられていたのを見たからです。私自身は、井の頭公園に入るのは、小学校の遠足以来でした。また、吉祥寺の駅で降りるのも、おそらく20年ぶりでしょうか。そのくらいご縁がない場所でした。

吉祥寺に久しぶりに行って、北口のアーケード街を初めて歩き、人出の多さに驚きました。特に、アーケードの通りに交差する路地に、屋

台村のように小さな飲食店が数多く並んでいる一帯に、実に多くの人が集まり行き来しているのは、圧巻でした。

川越市は、現在年間700万人を超える観光客が訪れ、特に外国人観光客は近年大きく増加しています。一方、商店街では従来の商店が閉店し、市外に本店(社)がある業者に店を賃貸する例が増えていること、埼玉県内では今や川越にしかないといえる昔ながらの飲食店が苦戦していることなど、懸念材料もあります。

観光客数を維持するためには、常に創意工夫をしながらリピーターを増やし、また、新しい地域・国からの観光客を「開発する」ということが必要であるといえます。そして、リピーターを増やすにも、新しい観光客を増やすにも、訪れた人に「良いところだからもう一度来たい」と思われるような工夫を重ねることが必要です。

吉祥寺のほかに、高知市でも、屋内の屋台村というべき場所がとても繁盛しているのを見ました。飲酒については、さまざまな意見がありますが、まちのにぎわいには飲食店が果たす役割は大きいといえます。川越市も、屋台村のような飲食店街をつくってみてはどうだろうかというようなことを、強く感じた今年の正月でした。

川越市長 川合善明

交通事故防止!

ハイビームを活用しましょう!

防犯・交通安全課 ☎224-5721

Fax 224-6705

市内では、夜間の交通事故が多発しています。その原因の多くは、運転者が歩行者を発見できずに起こっていて、特に発見しにくいのは右から横断する歩行者といわれています。

このような事故を未然に防ぐ一つの方法として、ハイビームが有効であることをご存じですか。車のヘッドライトには、ロービーム(下向きライト)とハイビーム(上向きライト)の2種類があります。ロービームの照射範囲は前方約40mですが、ハイビームは前方約100mまで照射することができます。ハイビームは、その都度切り替える必要があるため、

使用していない人もいるかもしれません。しかし、歩行者や路上障害物などを早めに発見するために、他の車両や歩行者などの交通を妨げる恐れがある場合を除き、ハイビームを活用しましょう。

また、辺りが暗くなってから外出する方は、運転者に自分の存在を知らせるために、反射材を身に付けるようにしましょう。

